

東京大学の研究者に学ぶ講座「超小型人工衛星開発講座」

教育総合研究所 理科教育課

1 日時

令和元年7月20日(土) 9:00~16:00、7月21日(日) 9:00~16:00
7月27日(土) 9:00~15:30

2 目的

- ・県内の中高生が最前線で研究する研究者から指導を受け、本物の技術・研究者に肌で触れる。
- ・本講座を契機にさらに多くの宇宙開発に興味関心のある生徒の進路決定を支援する。
- ・福井県で宇宙教育をすすめるための啓蒙活動を行う。

3 主催 福井県教育総合研究所

4 会場 福井県教育総合研究所 サイエンスラボ、グラウンド、第2体育館

5 講座の対象および内容

参加者：県内の中高生 39名

内容：缶サットの概要説明およびミッション達成に向けた缶サットの製作実習

- ・高度50mに気球(アドバルーン)を上げ、缶サットをパラシュート落下。
- ・落下時のミッション達成や着地時の計測によるポイントを競技。

ミッション

- ① 2機一体となった缶サットの落下時機体切り離し。
- ② 落下時に子機に搭載されたカメラにより親機の撮影。
- ③ 目標時間差での2機の着地。
- ④ 着地時における2機間の遠距離着地。

関係機関：東京大学中須賀研究室(講師および実習アシスタント)



講師：中須賀真一 氏 (東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授)

福井県民衛星プロジェクト支援事業の顧問。2003年、重さわずか1kgの超小型人工衛星を打ち上げ、超小型人工衛星分野を切り拓いた先駆者である。10年からは内閣府最先端研究開発支援プログラムの超小型衛星プロジェクトでリーダーを務め、現在は内閣府宇宙政策委員としても宇宙の政策立案・産業化に貢献している。

6 日程詳細

	7月20日(土)	7月21日(日)	7月27日(土)
8:30	受付	生徒集合	生徒集合
9:00	開講式 講義・説明 缶サット計画、製作 会場：物地ラボ	缶サット製作 会場：物地ラボ 落下テスト 会場：好天時 グラウンド 荒天時 第2体育館	落下競技 会場：好天時 グラウンド 荒天時 体育館 成果発表プレゼン準備 会場：物地ラボ
12:00	昼食会 会場：生物ラボ	昼食会 会場：生物ラボ	昼食会 会場：生物ラボ
13:00	缶サット製作・試行	缶サット製作(午後の部) 落下テスト	成果発表プレゼン 講師ご高評
15:30	会場：物地ラボ 第2体育館	会場：好天時 グラウンド 荒天時 第2体育館	終了
16:00	終了	終了	